

小金井市長期計画起草委員会（「環境と都市基盤」「地域と経済」第3回）

日 時 令和2年1月17日（金）午前10時00分～午前11時50分

場 所 市民会館・萌え木ホールB会議室

出席委員 4人

リーダー 上原 和 委員

委員 渡邊 嘉二郎 委員 南 恵子 委員

松嶋 あおい 委員

欠席委員 1人

委員 後藤 広治 委員

---

事務局 企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課主査 東條 俊介

企画政策課主事 鎌田 莉央

株式会社創建 氏原 茂将

---

傍聴者 0人

---

要点記録

1 市民懇談会報告書について

- ・特に修正がないことを確認した。

2 第5次小金井市基本構想について

- ・特に修正がないことを確認した。

3 第5次小金井市前期基本計画について

（施策1 みどりと水の環境整備）

○現状

- ・生産緑地の表現が分かりづらいので変えた方がよい。

○指標

「公園環境美化サポーターの登録者数」

- ・指標として細かい。もっと全体を見れる指標もあるとよい。
- ・緑被率を指標として入れてはどうか。
- ・質の高いみどりを把握する調査等による指標が出せるとよい。

(施策2 循環型社会の形成)

○目指す姿

- ・ 3Rの凡例があると良い。
- ・ 市民には3Rより「分別の徹底」の方が分かりやすい。

(施策3 環境保全の推進)

○課題

- ・ もっと緊迫感のある表現であると良い。

(施策5 住環境の整備)

○目指す姿

- ・ 快適かつ安全で良質な住環境整備は「快適かつ安全で住み心地の良いまち」の方が良い。

(施策7 交通環境の整備)

○目指す姿

- ・ 安全で快適な交通環境は固い。「人が行き交うまち」という表現が良い。

(施策8 防災体制の整備)

○目指す姿

- ・ 基本構想の「誰もが自立し、助け合い寄り添い」の表現があると良い。
- ・ 共助、助け合い、「人の輪」といった表現があると良い。

○指標

「地域の防災訓練への参加率」

- ・ 直近1年間で、という頻度を追記した方が良い。
- ・ 防災意識の向上を測れば良いので、市内に限定する必要はない。
- ・ 防災士、応急危険度判定員の数といった指標も可能ではないか。

(施策10 産業・観光の振興)

○目指す姿

- ・ 市民力によるは、「市民力あふれる」の表現が良い。
- ・ 付加価値を創出し、継続的に成長する、は「付加価値を見出し、継続的に育てる」の表現が良い。

○施策の方向性

- ・ 農工大・多摩小金井ベンチャーポート退去企業の表現は、今後の展開を見据え、具体的に

書かない方が良い。

(施策 1 1 都市農業の振興)

○目指す姿

- ・農地の多面的機能の実現という表現が難しい。また全体的に漢字が多い。
- ・同じ内容を繰り返しているので、重複を削除した方が良い。
- ・農地が都市の中であるべきものとして、人と関わっていくことを表現したい。

○指標

「地場産農産物を購入したことがある市民の割合」

- ・「これまでに」を追加した方が良い。
- ・地場産を「小金井市産」と明記した方が良い。

4 その他

- ・「目指す姿」の表現が、「〇〇なまちを目指す」等となっている。目指す姿であれば「〇〇なまち」が良いと考える。他の施策にも関わるので事務局で検討いただきたい。
- ・都市整備の施策の順番を入れ替える（都市インフラを前に持っていく）方が良いと考える。事務局で検討いただきたい。
- ・学園都市の表現をどこかで入れることを検討いただきたい。
- ・目指す姿・指標の文言の調整は、リーダーに一任とする。